



## 「エネ研てんこもり16」を開催しました

平成27年8月22日(土)に、16回目となるエネ研施設公開イベント「エネ研てんこもり」を開催しました。

天候不順で大型太陽炉実験は中止となりましたが、県内外から約500名もの皆さまにお越しいただきました。



開会あいさつ (旭理事長)



身近なものの放射線測定体験



施設見学

ロビーでは、福井工業大学の新谷教授をお招きし、「モニタリングロボット操作体験」を開催しました。モニタリングロボットとは、原子力発電所での事故等で人間が入り込めない現場において、放射線量の測定等を行うロボットです。

体験に先立って、新谷先生よりモニタリングロボットの概要を説明していただき、その後、子供たちは実際にコントローラーを使って、ロボットを操作しました。前後左右に動かすだけでなく、最後には8の字周りに挑戦するなど、子供たちはめったに触れることのできないロボット操作に夢中になっていました。



モニタリングロボット操作体験

てんこもりの人気イベントの一つである工作教室では、「ボトルフラワー」、「紙コップロケット」、「パラシュート」などの作成体験が行われ、多くの親子連れで賑わいました。



顕微鏡観察コーナー



カラフルいくら作り



ボトルフラワー工作

また、来場者には、クイズ形式のスタンプラリーや施設見学などを通して、エネ研が取り組んでいる研究活動を周知しました。

今回のイベントで、多くの子供たちに科学の面白さや不思議さを学んでいただき、有意義な1日となりました。

## 【海外研修生受入事業】原子力発電安全基盤コースを開催しました

平成27年8月24日から9月4日にかけて、ベトナム電力公社（EVN）から12名の研修生を受け入れ、原子力発電安全基盤コースを開催しました。

この研修は、ベトナムが今後導入する原子力発電プラントの安全確保と人材育成に貢献することを目的として実施するもので、EVNの技術者や規制担当者などが参加し、講義、施設見学、実習並びに討論会を実施しました。

研修では、国内専門家による原子力発電プラントに関する安全設計や国際的な安全基準、原子力防災など、計10の講義を受講したほか、施設見学として、三菱重工神戸造船所を訪問し、蒸気発生器等の製作現場を見学しました。

また、実習では、日本原電敦賀総合研修センターにおいて、シミュレータによる原子炉の起動等の操作を体験し、原子力発電に関する理解を深めました。最終日前日に実施された討論会では、原子力発電所導入に向け研修生自身が果たすべき役割について発表を行い、活発な意見交換が行われました。

研修生からは、「シミュレータによる実習で原子力発電所の運転、事故時の動作状況について理解することができた」、「当研修において、原子力発電に関する安全性確保の重要性についてさらに理解を深めることができた」といった意見がありました。



歓迎の挨拶をする旭理事長



日本原電敦賀総合研修センター見学



討論会の様子

## アジア原子力協力フォーラム(FNCA)ワークショップが開催されました

「アジア原子力協力フォーラム（FNCA）『人材養成プロジェクト』ワークショップ」が、県、福井大学およびエネ研の後援のもと、平成27年8月19日から3日間にわたり、県国際交流会館において開催されました。

FNCAとは、文部科学省などが中心となって進めているアジア諸国との国際協力の枠組みで、放射線利用開発や原子力安全といった10のプロジェクトを実施しています。今回はこの中の『人材養成プロジェクト』の一環として、日本、タイ、ベトナムなどアジアの11ヶ国から参加した原子力委員会や原子力研究所などの人材育成担当責任者ら19名が、原子力人材育成の取り組みや国際協力について話し合いました。

開会にあたって、エネ研の旭理事長は「原子力エネルギーの先進県としてアジアの原子力安全技術・人材育成の向上に貢献していきたい。当ワークショップにおける人材育成のニーズや課題等の意見を参考にし、本県の人材育成事業に役立てたい。」と挨拶しました。その後、会議において、人材養成にかかる各国の活動状況報告や福井県が行う取り組みのレポート、また、日本が提供する支援活動の紹介等を行い、今後の人材育成の進め方について活発な議論が行われました。



参加者集合写真



ワークショップの様子

